

〔症例概要〕

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 80代	心房細動(心不全, 高血圧, 間質性肺疾患, 貧血, 呼吸不全, 僧帽弁閉鎖不全症, 認知障害)	220mg 65日間	<p>食道潰瘍</p> <p>年月日不明 投与5日前 投与開始日</p> <p>年月日不明 投与65日目 (投与中止日)</p> <p>中止2日後</p> <p>年月日不明 年月日不明 中止138日後</p>	<p>心不全増悪にて入院。加療を継続するも心不全, 尿路感染症, 肺炎の繰り返しあり。 アピキサバン投与終了。 本剤(110mg, 2回/日)投与開始。認知機能低下があり, 本剤をきちんと服用し, 水などの摂取食事也十分とれていたかは, 十分とは言えない状況であった。</p> <p>食道裂孔ヘルニア発現 14:22 午後昼食後吐血。 16:00 内視鏡検査実施。 食道: 胃食道逆流性疾患(GERD): 食道裂孔ヘルニアあり, 食道下端にびらん形成, 薬剤様のタブレットが付着, 薬剤性食道潰瘍の可能性あり。 胃: 噴門部・胃体部・前庭部・幽門部: 異常なし 十二指腸: 球部・下行脚: 異常なし。 Vater乳頭: 確認できず 生検: 0個 診断: 食道裂孔ヘルニア, 薬剤性食道潰瘍の疑い 副作用発現時は, 本剤を仰臥位で服用していた。本剤投与中止。 MAP(400ml×2本)輸血。 ランソプラゾールOD錠(15mg 2錠/日, 分1, 夕食後), アルギン酸ナトリウム内用液5%(90mL/日, 分3, 毎食事前)処方。</p> <p>09:00 再度内視鏡検査実施。 食道: GERD: グレードBに相当するが, 薬剤による食道潰瘍, 止血されており, 白苔形成。 胃: 噴門部・胃体部・前庭部: 異常なし。 幽門部: 大湾に発赤。 十二指腸: 球部・下行脚: 異常なし。 Vater乳頭: 確認できず 生検: 0個 診断: 食道潰瘍, 止血確認。食道裂孔ヘルニア 薬剤性の食道潰瘍: 回復。 食道裂孔ヘルニアの転帰は不明。 慢性心不全の増悪, 腎不全, 心房細動発現。 死亡。 死因: 慢性心不全の増悪, 腎不全, 心房細動</p>

臨床検査値

	投与53日目	投与65日目 (投与中止日)	中止1日後	中止48日後	中止62日後
BUN (mg/dL)	14.9	19.4	18.9	18.8	12.3
Cre (mg/dL)	1.84	1.87	1.73	1.49	1.14
RBC (x 10000 cells/microL)	262	258	300	294	219
Hb (g/dL)	7.1	7.1	8.6	8.8	6.4
Ht (%)	21.2	20.6	24.2	26.1	19.4
MCV (fL)	81	80	81	89	89
MCH (pg)	27.1	27.5	28.7	29.9	29.2
MCHC (%)	33.5	34.5	35.5	33.7	33
APTT (sec)	-	-	91	-	-
PT (sec)	-	25.6	23.1	-	-
INR	-	2.31	2.07	-	-

投与65日目(投与中止日)
PT対照: 11.3 PT活性値: 27.0
PT対照: 11.3 PT活性値: 30.4

併用薬: 酸化マグネシウム, スピロノラクトン, ニコランジル, 硝酸イソソルビド, テオフィリン, テルミサルタン, レバミピド, フロセミド, リスペリドン, エスゾピクロン
備考: 企業報告

[症例概要]

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
1	男 80代	発作性心房細動(慢性心不全, 高血圧, 骨粗鬆症)	220mg 約11年半	食道炎 投与開始日 投与約11年半 (投与中止日) 中止3日後 中止8日後 中止12日後	意識消失, 黒色嘔吐, 黒色便にて救急搬送され入院。 上部消化管内視鏡検査を実施し, 中部から下部の食道に炎症を認める。 絶食, 開始液, オメプラゾールナトリウムにて経過観察。 本剤投与中止。 採血にて貧血の悪化を認めないため, 食事再開。 ホルター心電図実施。心房細動を認めないため, 本剤は中止継続となった。 ダビガトラン起因性食道炎: 回復。退院。	
臨床検査値						
			投与約11年半後 (投与中止日)	中止 1日後	中止 3日後	中止 8日後
Hb (g/dL)			9.6	8.2	8.8	9.3
MCV (fL)			85.8	86.1	87.3	88.1
BUN (mg/dL)			30.7	21.8	11.3	16.7
CRE (mg/dL)			1.19	1.19	1.08	1.19
併用薬: シベンゾリンコハク酸塩, カルベジロール, アジルサルタン, ファモチジン, ミラベグロン, スポレキサント, アルファカルシドール, オクトチアミン・B2・B6・B12配合剤, レバミピド, L-アスパラギン酸カルシウム水和物						
備考: 医療機関報告						